

① 4と6の公倍数を小さいほうから5つ書きましょう。

12, 24, 36, 48, 60

② 12と18の公約数をすべて書きましょう。

1, 2, 3, 6

③ 次の問いに答えましょう。

(1) 6と8の最小公倍数 → 24

(2) 12と16の最小公倍数 → 48

(3) 12と18の最大公約数 → 6

(4) 24と36の最大公約数 → 12

④ ○と×で答えましょう。

(1) 偶数+偶数は必ず偶数である → (○)

(2) 奇数+奇数は必ず奇数である → (×)

(3) 偶数×奇数は必ず偶数である → (○)

ポイント：公倍数・公約数は「共通するもの」を探そう！